



静岡県議会議員 [無所属] 気迫と情熱 田内浩之だより

〒431-0431 静岡県湖西市鷺津330-11 I・HEIMⅡ 101号

■電話 053-575-3105 ■メール info@tanai.jp

■FAX 053-575-3107 ■ホームページ http://www.tanai.jp

東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、
政治は命を守ることだと頭と体に叩き込み、防災対策に今後も取り組んでいきます。

1. これからの防災対策

今現在、静岡県や湖西市は防災計画を1854年の安政・東海地震のデータを基にした第3次被害想定というものを基準に作っています。

しかし今回の東日本大震災を受けて県は1年がかりでこれを見直します。また、見直しを待っているだけではなく新居高校に屋上まで駆け上がれる階段を作るなど対策をすすめていきます。

私も岩手県大槌町、山田町に行き悲しい現実を見てまいりました。人間の自然に対する弱さと失ったものの大きさを痛感しました。対応して下さった市町の職員さんは「これを教訓に静岡県で同じことがないようにしてほしい」と切実に訴えてくださいました。



▲大槌町役場の跡地



▲山田町の支援物資の集積所にて

2. 選挙のご報告

応援して下さったおひとりおひとりの力で県議会議員としての活動ができることになりました。みなさんと同じ目線、同じ思いで努力しますので引き続き応援よろしくお願いたします。(公職選挙法上お礼のあいさつができませんのでご了承ください。)

4月10日。皆様ご存知の通り開票率が97%の時点では38票負けており、後援会会長からも「頑張ったけど負けだ」と伝えられていました。私の力不足で多くの方のご努力を無駄にしてしまったと待機していた車の中、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

しかし車で待っているより、応援して下さった方々が待っていてくださっている事務所に行こうと歩いてまいりました。その歩いている最中に開票率が98%になり41票勝っていると事務所に報告が入りました。そして30分後、当選の連絡がありました。みなさまの応援を決して無駄にしないよう、全力で働きます。



▲選挙事務所にて

3. 民主党・ふじのくに県議団に入りました。

私のような無所属議員と民主党所属の議員が在籍する民主党・ふじのくに県議団に入りました。

入会した理由は、川勝知事を送り出した会派なので知事を応援したい思い（もちろんすべての政策に賛成ではありません）と、応援していただいた連合湖西さんを含めた連合が支援する議員さんが在籍する会派なので一人の力では無理なことも協力して取り組めるからです。

県政の民主党議員の方々はなんとか静岡を発展させたいとがんばっていることをご理解いただきたいと思います。



▲新しいロゴマーク

4. 厚生委員会に入りました。

県議会には分野ごとに常任委員会が置かれています。厚生委員会は私が取り組みたい病院を含めた医療、子育て支援、介護等を担当するところです。その場で私たち議員は県職員の方々に質問や要望というかたちで、議員が求められている行政に対する監視・提案をしていきます。

7月に行われた委員会での私の質問・要望 [厚生委員会に関する質問・要望しか委員会では出せません]

- ① 湖西病院を含めた地域医療の充実と産科がない市への産科の設置。
- ② 日本自動車工業会の土日就業に対する県の保育園・学童対応について。
- ③ 在宅医療の充実について。
- ④ 病児・病後保育について。
- ⑤ 災害時の障がい者の方や、要介護者に対する対応について。
- ⑥ 発達障害について。
- ⑦ 西部児童相談所の一時保護所の設置、児童養護施設にいる子供たちに対しての補助金の要望。



5. 6月定例議会

6月23日から7月12日まで6月定例議会が開催されました。本会議では、会派の代表や議員が質問によって知事を頭とする執行部と議論します。議員は全員質問できるわけではなく、6月、9月、12月、2月の定例議会に振り分けられます。私は2月の予定です。

本会議の議題の中心は、やはり浜岡原発を含めた防災とお茶の被害についてでした。



▲田中泰之後援会会長

6. 後援会について

引き続き田中泰之後援会会長のもと活動していきますので今後ともよろしく願いいたします。活動は定期的な便りの発行、報告会・意見交換会の開催、旅行等の予定ですので随時ご案内させていただきます。

7. 事務所について

事務所を自宅南隣のアパート「I・HEIMⅡ」の1室にお借りすることができました。月・火・木・金の9時から12時 13時から16時には事務員の鳥居さんがおります。是非お立ち寄り下さい。尚、留守にすることもありますのでお電話頂けるとありがたいです。

静岡県議会議員 田内浩之 事務所

〒431-0431 静岡県湖西市鷺津330-11 I・HEIMⅡ 101号

・電話 053-575-3105 ・FAX 053-575-3107 ・メール info@tanai.jp ・ホームページ <http://www.tanai.jp>

8. ブログについて

日々の活動をホームページのブログ欄で更新しています。
ぜひご覧ください。

ホームページは「グーグル」や「ヤフー」で「田内浩之」
か <http://www.tanai.jp> と入力すると出てきます。

以下はブログより抜粋です。



1 よくみなさんに聞かれること ▶▶▶▶ 「普段何やっているの?」です。Wed.05.25.2011

確かに議員が普段何やっているか私も知りませんでした。私の時間の使い方の多い順番で上からいくと、圧倒的な1番は人とお会いして話していることです。

私が取り組んでいることや担当委員会関連でもある、病院や介護、子育て関連（保育園、学童関係の方）、学校関係の現場で働いている方や、それに関連する県や市の職員さんとお話しして何が問題かをまず把握しようと努めているのと同時に勉強させていただいています。今後問題が把握できたのであれば解決するために自分の担当委員会関連では委員会にて問題提起し、担当でないことは同じ会派の担当議員さんをお願いをします。また県が関わっている例えば堤防、信号機などのご相談を市民の方からいただきますので市民の方々のお話を聞いて県と市民の方とのパイプになるよう努めています。そして、市長にもお時間をいただいております。市と県が連携するには問題の共有が必要です。定期的にお会いしています。

次に多いのは来賓としてお招きいただく会への出席です。例えば商工会さん、食品衛生協会さん、等々です。各団体さんの問題を把握させていただくのにもありがたいです。

次に、資料の読み込みです。日々勉強の毎日です。このような時間の使い方です。

最後に皆様をお願いします。きっとこれからしばらく景気が悪くなり生活に困っている人や、悩みを抱えているかたが増えてくると思います。もしまわりにそういう方がいらっしゃれば是非ご相談ください。秘密は厳守します。議員としてできることがあるはずです。

2 被災地に行ってきました ▶▶▶▶ 岩手県(遠野市、大槌町、山田町)Wed.06.08.2011

被災地視察で教えていただき、今後の防災に役立つと感じたことのご報告です。

- ① 住民データの重要性。データがないと支援金の支払い等何もできなくなる。
- ② 町(市)と県が連絡をとれなくなった場合、町の職員は対応で手いっぱいなので、県が人を送って収集したほうがよい。
- ③ お米がある農村部で炊き出しをお願いするとよい。
- ④ 被災直後は何がほしいか支援する側が尋ねている場合ではない。水、食料、防寒具は絶対すぐ必要。
- ⑤ 地震が起きたらまず高台へ。
まわりの人に声をだして訴えながら。
- ⑥ 警察も被災する。
- ⑦ 携帯電話等通信手段は使えなくなる可能性大。
アマチュア無線が威力発揮。整備の必要大。



▲支援に行った静岡県職員の方々の寝ている部屋

⑧ 物資もすぐ欲しいが人もすぐ欲しい。物資の仕分け等をやる人がすぐいれば
町職員は他の仕事ができる。

⑨ 第1が被災したことを考え、第2の災害対策本部の場所も考えておく。(大槌町は役場が被災)

⑩ 遠野市では体育館と防災センターの機能を併せ持つ施設を計画中だった。

⑪ 国や県の防災計画は待っていてはだめ。やれることはどんどん町や市でやっていく。

3 県と市の連携 ▶▶▶▶ 円滑な連携のために Mon.08.01.2011

よく市と県はしっかり連携がとれているのかと質問をいただきます。

基準がないので判断できませんが連携する努力はしています。

市長と1か月に1回は必ず会っていただく時間をいただき、湖西病院のこと・防災のことなど意見を交換させていただき連携して取り組んでいます。

また市の職員さんには大変ご迷惑をおかけしていますが課題(土日就業に対する保育園対応等)があると職員さんにお話を伺い、県の担当部署に伝えます。

県は県、市は市と仕事を分けるのではなく車輪の両輪のように仕事をしなくてははいけません。例えば市民の方からすれば県道だろうが市道だろうが道路は道路です。なおかつ県と市は対等な関係だと法に示されています。

いい意味で市にこき使われる議員にならないといけません。

話は変わって今日の夜に湖西国際交流協会のにほんごカフェにお邪魔してきました。

にほんごカフェは地域に住む外国の方と日本人が簡単な日本語の会話を楽しみながら交流する場です。外国のかたの勉強熱心な姿に身の引き締まるおもいでした。

まわりで外国の方がいる方は是非すすめてみてください。

詳しくは湖西国際交流協会のホームページ (Click!) 湖西国際交流協会 /

4 ふれあい親子県議会教室 ▶▶▶▶ 子どもたちとふれあう中で Wed.08.03.2011

今日はふれあい親子県議会教室が県庁でありました。

小学4年生から6年生を対象に保護者の方とともに県議会に対して理解を深めていただく催しです。

参加してくれたちびっこは58人で中には私の地元、湖西市の女の子も参加してくれました。

楽しかったのは10人ずつに分かれて子どもたちの質問に議員が答える時間です。

.....何で議員になろうと思ったの？

.....しんどい時はどういう時？

などなど核心をつく質問をたくさんもらいました。

大人になった時、頭の片隅に今日のことが残ってくれるとうれしいですね。



▲たくさんの質問をしてくれたメロンチーム